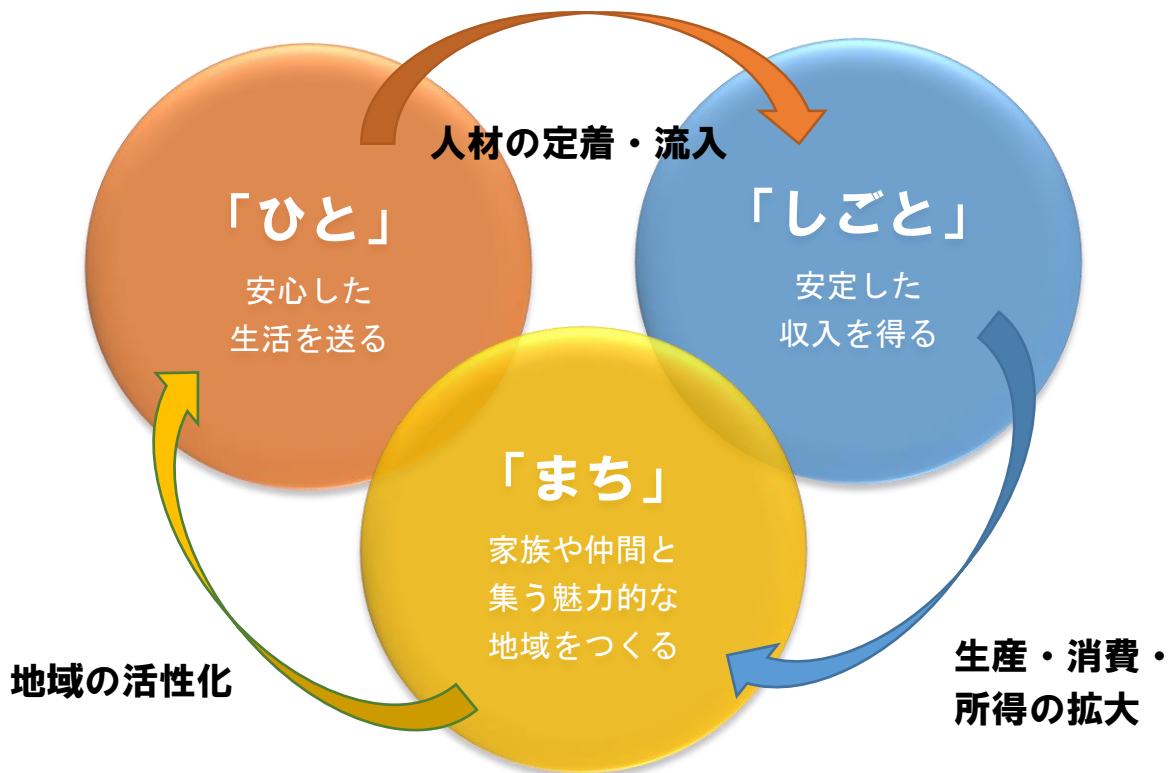


富良野市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略（案）

（ダイジェスト版）



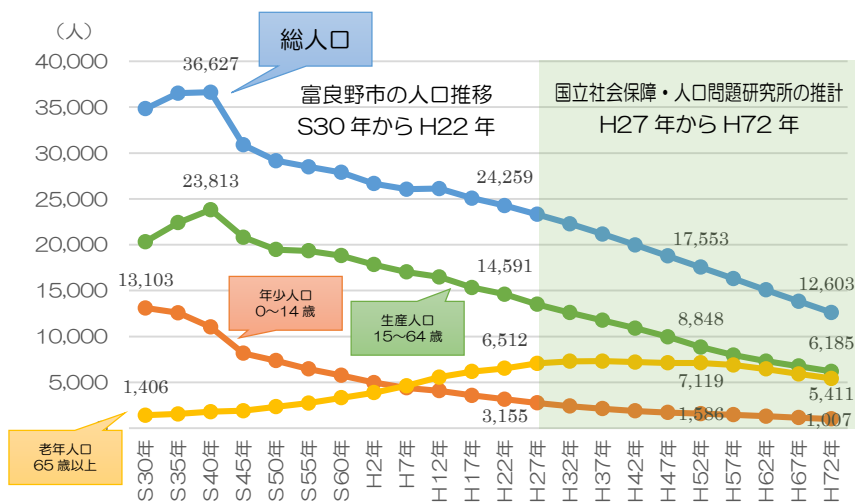
「ひと」と「しごと」の好循環とそれを支える「まちの活性化」

北海道富良野市

1. 富良野市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の目的

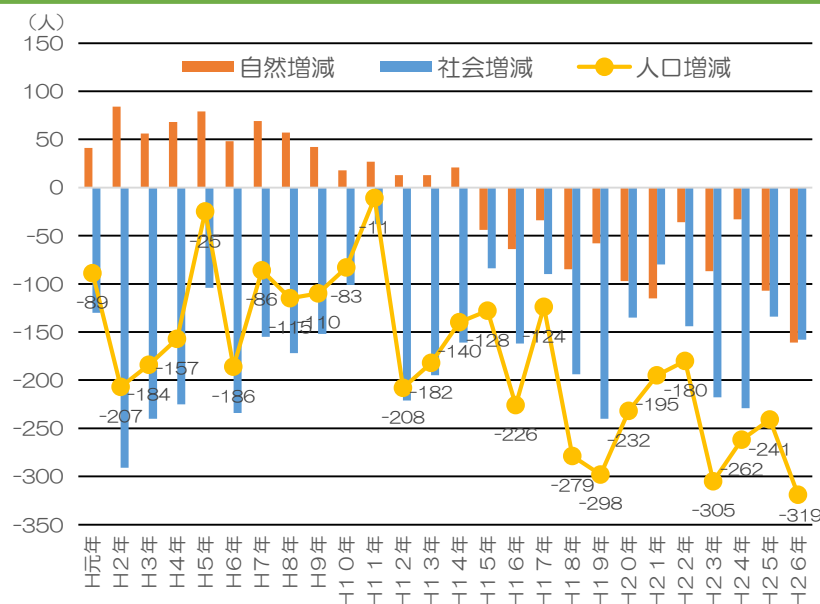
- 平成26年11月に成立した「まち・ひと・しごと創生法」は、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるために、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることと、地方への人の流れや「しごと」をつくるための法律です。
- 富良野市においても人口減少と少子高齢化は、「待ったなし」の状況であり、人口減少による地域経済の低迷は、さらなる雇用の場の確保を困難にし、負のスパイラルとして地域そのものを崩壊・消滅させる「静かなる有事」とも言われております。
- 富良野市の「まち・ひと・しごと創生」は、富良野に「しごと」をつくり、「しごと」があることで「ひと」を呼び込み、「ひと」の暮らしを支える富良野の「まち」が活性化する好循環による相乗効果により、「住み続けたいまち、そして、子どもたちに誇れるまち」をめざして、平成72年（2060年）までの人口ビジョンであり、総合戦略とは、平成72年までの人口ビジョンを実現するための今後5年間で取り組む総合的な施策です。

2. 人口推移と将来推計



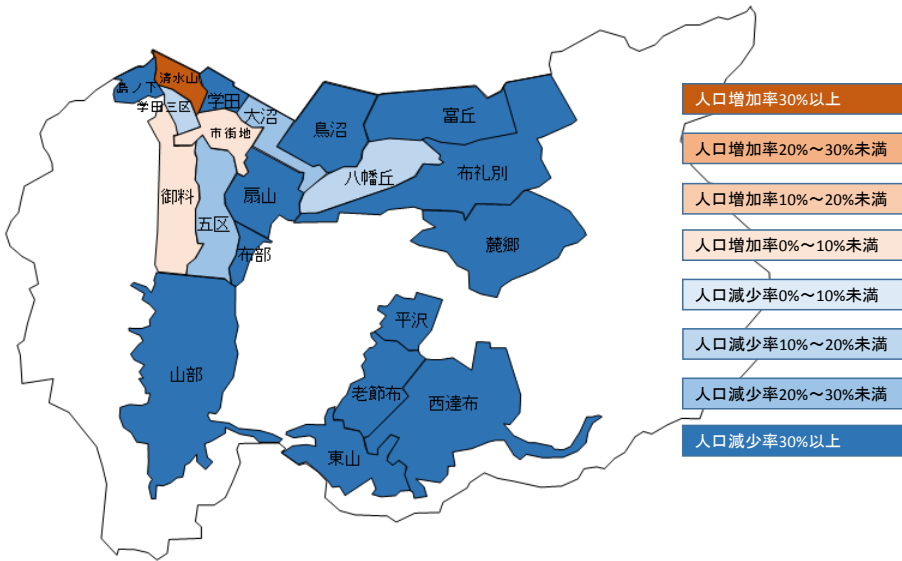
- 富良野市の総人口は昭和40年の36,627人をピークに減少し、平成22年時点では24,259人となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、平成72年時点の総人口は12,603人となり、ピーク時の約3分の1、平成22年時点の約半分となっています。
- 年齢3区分別に見ると、生産人口及び年少人口は将来に向けて大きく減少していきます。老年人口は平成52年まで増加傾向にあるものの、その後は減少に転じています。

3. 人口の自然増減と社会増減



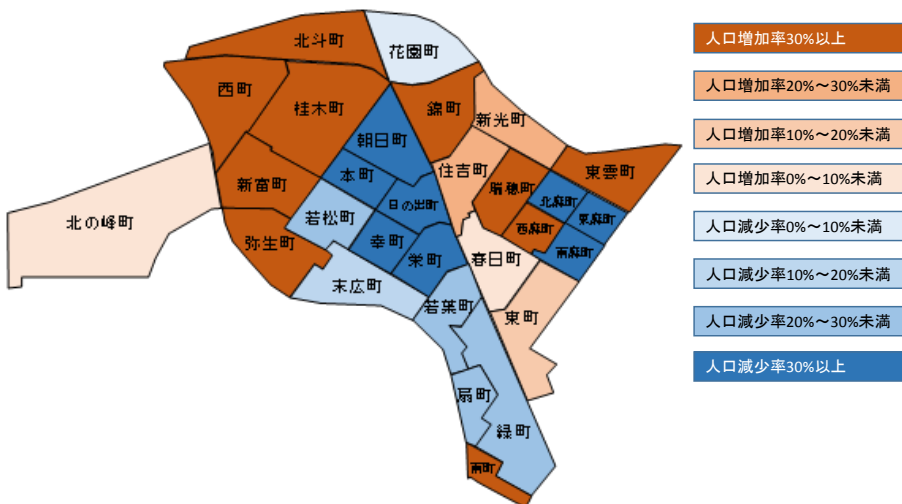
- 出生数から死亡数を差し引いた自然増減では、平成15年度から死亡数が出生数を上回る自然減に転じています。
- 転入数から転出数を差し引いた社会増減では、平成元年度から平成26年度まで、どの年度においても、転出数が転入数を上回る社会減となっています。
- 特に平成26年度は、自然減161人、社会減158人で、合わせて319人が1年間に減少しています。
- 未婚・晩婚・晩産化による出生数の減少と、転出超過が人口減の要因となっています。

4. 富良野市全域の地区別人口増減率（昭和 60 年から平成 22 年までの 25 年間）



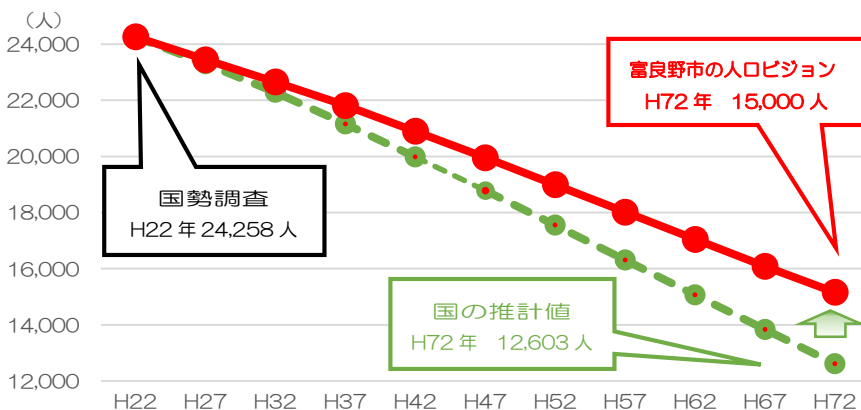
- 昭和60年から平成22年まで25年間の地区別人口増減率では、農村部において30%以上減少しています。
- 特に、山部・布礼別・麓郷地区では40%以上、東山・西達布・老節布地区では50%以上、平沢・島の下地区では、60%以上の減少率となっています。
- 富良野市街地区では、全体で5%増加しています。

5. 富良野市街地の地区別人口増減率（昭和 60 年から平成 22 年までの 25 年間）



- 朝日町・本町・日の出町・幸町・栄町などの中心市街地や麻町地区では、30%以上の人口が減少しています。
- 朝日通が整備された桂木町・西町・新富町、若葉通が整備された弥生町、東雲通が整備された錦町・瑞穂町・東雲町では、宅地開発により人口が30%以上増加しています。

6. 富良野市の人口ビジョン



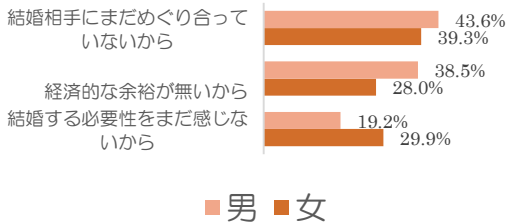
国の推計値
H72年 12,603人

合計特殊出生率が現在の1.44人から1.8人まで回復し、社会増としての施策を講じた場合

富良野市の人口ビジョン
H72年約15,000人
(国の推計値より約2,400人増)

個別戦略① 結婚したいと思う人々の希望をかなえる。

現在、独身でいる理由に対する上位3つの回答



独身の男女へのアンケート調査では、独身でいる理由として「結婚相手にまだめぐり合っていないから」が最も高くなっていました。

- 市役所内に、男女の出会いの場の創出に向けた「出会い総合サポート室」を設置し、結婚を希望する人々を支援します。
- 地域の世話役としての「結婚サポーター」を募集し、出会いの相談や仲介などを行います。
- 民間や団体が行う出会いや婚活イベントなどの開催経費に対して、市が助成します。
- 北海道庁が設置した「北海道コンカツ情報コンシェル」と連携し、婚活者向けのマナーやコミュニケーション力の向上を図ります。

個別戦略② 妊娠・出産・子育てを地域全体で支援する。

子育て家庭をみんなでサポート



- 子どもを産む希望をかなえる治療費を助成します。
- 経済的に安心して子どもが医療にかかる支援を拡充します。
- 子どもの出生を地域で心をこめて祝福し、負担が増加する多子世帯の出生と入学を支援します。
- 子育てや子育て家庭を支援する地域活動を拡充します。
- 乳児期の子育て世帯の経済的負担を軽減します。
- 外出先で安心して育児ができるまちなか環境の整備を推進します。

個別戦略③ 地域資源を活用した環境教育と郷土愛を育むキャリア教育、人材育成を推進する。

教育目的に東大演習林の開放



- 恵まれた森林資源を活用し、市内小中学生を対象に森林環境教育を推進します。
- 子どもたちに「演劇のまち富良野」を体感し、演劇的手法を活用したコミュニケーション能力の向上を図ります。
- 富良野を愛し、将来、「ふるさと富良野」に心が向く小中高一貫キャリア教育の推進、及び人材育成を図ります。
- 富良野市育英基金奨学金償還免除による地元Uターン就職を推進します。
- グローバル化に対応するため、豊かな語学力、異文化理解の精神等を身につける場を提供します。

基本戦略2 「しごと」をつくる富良野戦略 就業者数 3,400人→3,600人

個別戦略④ 農業担い手育成センターを中心とした担い手の育成・確保を図る。

農業担い手の育成・確保



- 農業担い手育成センターに、「新規参入コース」「雇用就農コース」「体験実習コース」を設定し、担い手の育成・確保を図ります。
- 市内の農業後継者等が、地元で農業に従事しながら緑峰高校農業特別専攻科に通うため、学費の一部を助成します。
- 農業研修指導者に対し、指導に要する経費の一部を助成します。

個別戦略⑤ 雇用を生み出す起業化、中小企業への支援強化を図る。

プレミアム付商品券への継続支援



- 新規出店・創業、中小企業の活性化に向けて、市の制度を拡充し支援します。
- 域内の経済循環を図るため、プレミアム付商品券への支援を継続します。
- 若い人をターゲットにした就職情報サイトを立ち上げ、雇用の促進を図ります。
- ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業に対し支援します。
- 企業誘致を図ることで、若い人の雇用の場を確保します。

個別戦略⑥ ふらの版DMOの創設による観光振興を図る。

地域の魅力を活かした観光振興



- 富良野の農業・観光・環境を融合させ、地域の観光マーケティングやマネジメントを担う「ふらの版DMO」を立ち上げ、新たな観光地域を創出します。
- 「(仮称)ブランド観光圏」認定に向け観光地サインやサイクリング等の環境整備を図ります。
- 多種多様な観光資源を、季節偏差のない通年型観光や体験等による滞在型観光の強化を図ります。
- 富良野らしいイベントの開催による市民と観光客との交流を図ります。

基本戦略3 「まち」を育てる富良野戦略 まちなか居住人口 1,093 人→1,200 人

個別戦略⑦ コンパクトシティに向けた中心市街地の活性化を図る。

商業地価 5.1%上昇した中心市街地



- 中心市街地の居住環境の充実により、まちなか居住を推進します。
- 新規出店を支援し、商業集積を図ります。
- 滞留拠点施設整備により、まちなか回遊を促進します。
- まちなかに、(仮称) ビジターセンターを設置し、広域観光の情報発信と受入れ体制の充実を図ります。

個別戦略⑧ 空き家の利活用による住み替えと富良野への移住促進を図る。

移住相談プロモーション活動



- 空き家の実態を把握し、特定空き家を防止します。
- 利活用可能な空き家は、「住まいの情報バンク」に登録し、住み替え希望者や移住希望者への情報提供を図ります。
- 住宅リフォーム促進事業の制度を拡充し、移住希望者の中古住宅購入支援や3世代同居を促進します。
- 市の移住相談ワンストップ窓口を強化し、「しごと」「住まい」「暮らし」の情報を一元的に発信することで、移住・定住の促進を図ります。

個別戦略⑨ 循環型・低炭素による環境にやさしい社会の形成を図る。

衛生用品ごみの資源化に向けた実証実験



- 廃棄物の排出を抑制し、天然資源の消費を抑え、環境負荷の小さい循環型社会の形成を図ります。
- 化石燃料への依存や地球温暖化への影響を低減した低炭素社会を実現するため、有限な資源・エネルギーの有効活用を進めるとともに、再生可能エネルギーへの転換をめざします。

富良野市総務部企画振興課

〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号

TEL 0167-39-2304 FAX 0167-23-2121

詳細は富良野市ホームページをご覧ください

富良野市 地方創生総合戦略

検索